

海いのちの鐘がなる

むらかみよしこ タペストリー展



もうすぐ夏至の朝日が昇る。

太陽はちようどつりがね洞の
洞六の六の中に昇ってくる。

それはまるで まばゆいばかりの光のつり鐘だ。

鐘が鳴る。

金色の鐘が鳴る。

再会の鐘の音だ。

ここは時空を超えた世界への入口。

光の鐘が鳴るたびに誕生し

そして旅立つ。

2014年

3月4日 火

~6月1日 日

■前作「海・いのちのゆりかご」に続く、故郷の海にまつわる作品。つりがね洞は北部三陸海岸にある。この大岩の洞穴には、昔天井から釣鐘型の岩がぶらさがっていて、夫婦であの世に行く時には、この地で落ちあい、この鐘をついてから極楽浄土に入るといわれていた。岩の鐘は 明治29年の大津波で破壊され今はない。まわりを岩ツバメが飛びかい、岩肌にスカシユリが可憐に咲いている。冷涼な風が吹きわたり、透明感をました故郷の青い空を漂う、懐かしい人々の魂。東日本大震災の犠牲者の方々の魂もまた…。

時にはあらゆる生命を呑み込みながら、大いなる自然はまた生命を産み出しその懐に抱いていく。この洞穴に昇る真っ赤な太陽を見た時、私は鐘の音が聞こえたように思った。

■新作「海・いのちの鐘がなる」は、生命の愛おしさと生死を超えた魂の交感を表現したものです。羊原毛の草木染・手紡ぎ・手織作品10点を展示。どうぞご覧ください。

猪風来美術館
新見市法曾陶芸館

〒719-2552 岡山県新見市法曾609
TEL・FAX 0867-75-2444
<http://www.ifurai.jp/>

日本最大の縄文土器制作など、縄文野焼き技法の第一人者として知られる作家・猪風来(いふうらい)。猪風来美術館(新見市法曾陶芸館)では縄文野焼き作品をはじめ、法曾焼、絵画など、独自の縄文スパイラル造形による作品二百数十点を常設展示しております。

【開館時間】 午前9:30 ~ 午後5:00
【休館日】 月曜日(休日の場合その翌日)
【観覧料】 一般400円 高校生200円
【アクセス】

岡山から車で約90分
岡山空港から車で約70分
賀陽ICから車で約45分
新見ICから車で約30分
井倉駅からタクシーで約15分
方谷駅からタクシーで約10分

